

まだまだ多い、特殊詐欺に注意

今年4月から7月末までに北海道で起きた特殊詐欺被害は、警察に届けられた件数は76件、被害総額は約2億2,000万円と、昨年より件数は少し減りましたが、引き続き多数の被害が出ている状況です。

特に「架空料金請求詐欺」は29件、オレオレ詐欺は19件と発生件数が多く、特に注意が必要です。今回は、最近起きた特殊詐欺の事例を紹介しますので、確認して被害に遭わないようにしましょう。

事例① SNSで投資勧誘、2,400万円だまし取られる

被害者の50代男性は、眺めていたSNS上の投資広告をクリック、そこから繋がった投資会社の社員を名乗る者とチャットを通じてやりとりをしていた。ある日「日本円での株式投資をすれば利益が得られる」などと投資を勧められたため、これを信用し、複数回にわたり指定された口座にインターネットバンキングを通じて合計2,400万円を振り込んでしまった。

事例② 息子をかたる電話を信用、600万円だまし取られる

固定電話に、息子を名乗る者から「電話番号が変わった」と電話がかかってきた。翌日に再度、同じ番号から「彼女を妊娠させてしまった」「慰謝料と弁護士費用を払うことになっている。お母さん、どうかしてくれ」などと電話がかかってきた。信用してしまった被害者は、指定された場所で3回にわたり弁護士助手を名乗る者に現金合計600万円を手渡してしまった。

事例③ 偽警察官にだまされ、100万円だまし取られる

固定電話に、警察官を名乗る者から「あなたのキャッシュカードでお金が引き出され、犯人が捕まったので確認に警察官が向かいます。キャッシュカードを用意して待っていてください」と電話がかかってきた。その後、自宅に訪れた警察官を名乗る者にキャッシュカードを封筒に入れて保管するように言われたため、指示どおりに暗証番号を記載した紙と一緒に封筒に入れたところ、目を離した隙に中身をすり替えられて、口座から100万円が引き出されてしまった。



事例④ 偽警察官にだまされ、2億5,000万円だまし取られる

70代女性宅の固定電話に、警察官や銀行員を名乗る者から「あなたの銀行口座がマネーロンダリングに使われている。そのため、新しい口座を作ってお金を移す必要がある」と次々電話がかかってきた。信用してしまった被害者は、指示どおりに、新たにインターネットバンキングの口座を開設、その口座に銀行口座から送金した上、言われるがままに暗号資産を購入した。暗号資産購入の際に必要なIDやパスワードを電話でのやりとりの中で伝えてしまい、後日確認すると全て無くなっていた。

もし被害に遭ったら、警察相談専用窓口（☎#9110）にすぐに相談しましょう。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511